



# Typhoon

**取扱説明書**

P.2~

**OWNER'S MANUAL**

P.14~

〒154-0023  
東京都世田谷区若林1-18-6  
Web: [www.vestax.jp](http://www.vestax.jp) E-Mail: [cs@vestax.jp](mailto:cs@vestax.jp)

**Head Office**  
1-18-6 Wakabayashi, Setagaya-ku, Tokyo 154-0023 Japan  
Web: <http://www.vestax.com/>

**Vestax Global Support (US)**  
[csg@vestax.jp](mailto:csg@vestax.jp)

**Vestax Europe Support (Europe)**  
[cse@vestax.jp](mailto:cse@vestax.jp)

---

## 目次

|              |    |
|--------------|----|
| 目次           | 2  |
| ご使用上の注意      | 2  |
| 安全上の注意       | 3  |
| Typhoonの楽しみ方 | 4  |
| 同梱品          | 4  |
| 推奨動作環境       | 4  |
| セットアップ       | 5  |
| 各部の名称と機能     | 8  |
| セットアップ例      | 10 |
| サポート         | 11 |
| 主な仕様         | 11 |
| 保証とアフターサービス  | 12 |

## ご使用上の注意

### 電源について

- 雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きい機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
- 接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行って下さい。

### 設置について

- この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスを持つ機器があると、ハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えて下さい。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

### お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きして下さい。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないで下さい。
- 故障の原因となりますので、市販の接点復活剤・潤滑スプレーの中でも、シリコンオイル製スプレーは使用しないで下さい。

### 修理について

- お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合がございます。
- 当社では、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、6年間保有します。この部品保有期間を修理可能な期限とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げのお店または、当社商品の取扱店にご相談下さい。
- 本機の保証期間は1年ですが、クロスフェーダーやインプットフェーダーなどは、耐久性を超えた使い方(過度なスクラッチプレイでご使用になった場合等)をされると、通常のパーツの耐久期間(1年以上)が、1ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合、保証内で修理に出されても、消耗部品という判断により、パーツ交換代として実費を請求させていただくことがあります。

### その他の注意について

- スイッチ、ツマミ、入出力端子等に過度の力を加えると、故障の原因となりますのでご注意ください。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐ為に、プラグ自体(頭の部分)を持って行うようにして下さい。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意して下さい。

## 安全上の注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいようお願い致します。



### 警告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例



電源プラグをコンセントから抜け



分解禁止



指を挟まれないよう注意

- 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

- 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

- △ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は指をはさまれないよう注意)が描かれています。

## 警告



電源プラグを  
コンセントから抜け

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

## 注意



電源プラグを  
コンセントから抜け

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- USB機器はUSBケーブルを端子から抜いてから行ってください。



- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

## Typhoon の楽しみ方

TyphoonとコンピュータをUSBケーブル一本接続するだけで、聴くだけだった音楽を「遊び」「触れ」そして「奏でられる」ようになります。

好きなジャンルの音楽を好きな時に好きな場所で、自由にプレイ。  
難しいことは考えずに、好きな音楽データを読み込んで、好きな音質に調整、好きな音量に調整できます。  
そして、ジョグホイールで演奏を操る。

Feel the Music!

## 同梱品

- 取扱説明書
- USB ケーブル
- Traktor LE インストール CD-ROM
- ドライバー CD-ROM
- ソフトウェア簡単ガイド

## 推奨動作環境

Macintosh

OS : Mac OS X 10.4.11以上

CPU : Intel Core DUO 1.66GHz 以上

空きUSB端子

CD-ROMドライブ

Windows

OS : Windows XP (SP2/32Bit) / Vista (32Bit) / 7 (32Bit)

CPU : Intel Core DUO 1.4GHz以上

空きUSB端子

CD-ROMドライブ

※ バンドルソフトウェア以外はサポートしていません

※ 64BitOSはサポートしていません

※ AMD製CPUはサポートしていません

# セットアップ

## Windowsの場合

1. TyphoonとコンピュータのUSBポートをUSBケーブルに接続します。



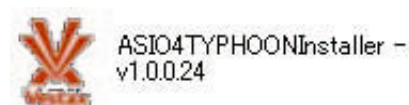
2. Typhoonの背面パネルにある、電源スイッチを”USB”に切り換えます。



## ドライバーのインストール

Typhoon専用のオーディオ・ドライバーをインストールします。

- 1-1 付属のCD-ROMをコンピュータに挿入し、CD-ROM内容の「ASIO4TYPHOONInstaller」をダブルクリックします。



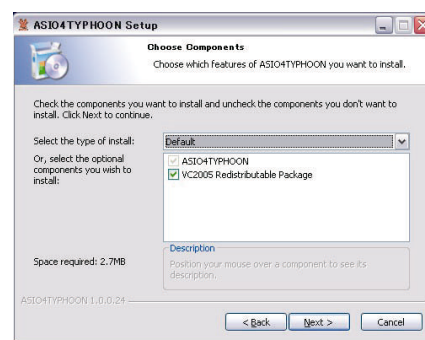
- 2-1 インストーラーが立ち上がるので「Next」をクリックします。



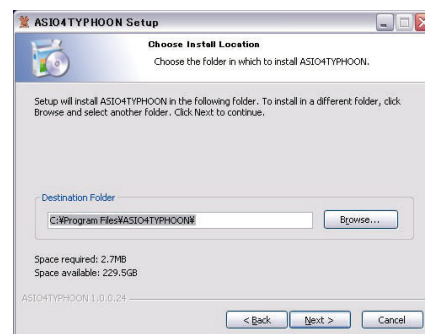
- 2-2 使用許諾書の画面が表示されるので、確認後に「I Agree」をクリックしてください。



2-3 インストールするドライバー類を確認する画面が表示されるので確認後に「Next」をクリックしてください。



2-4 インストール先を指定する画面が現れるので、通常であればそのまま「Next」をクリックしてください。

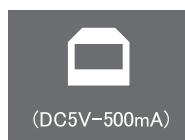


# セットアップ

## Macintoshの場合

Typhoonには専用のドライバは不要ですので、USBケーブルを接続するだけで簡単にインストールが可能です。

1. TyphoonとコンピュータのUSBポートをUSBケーブルにて接続します。



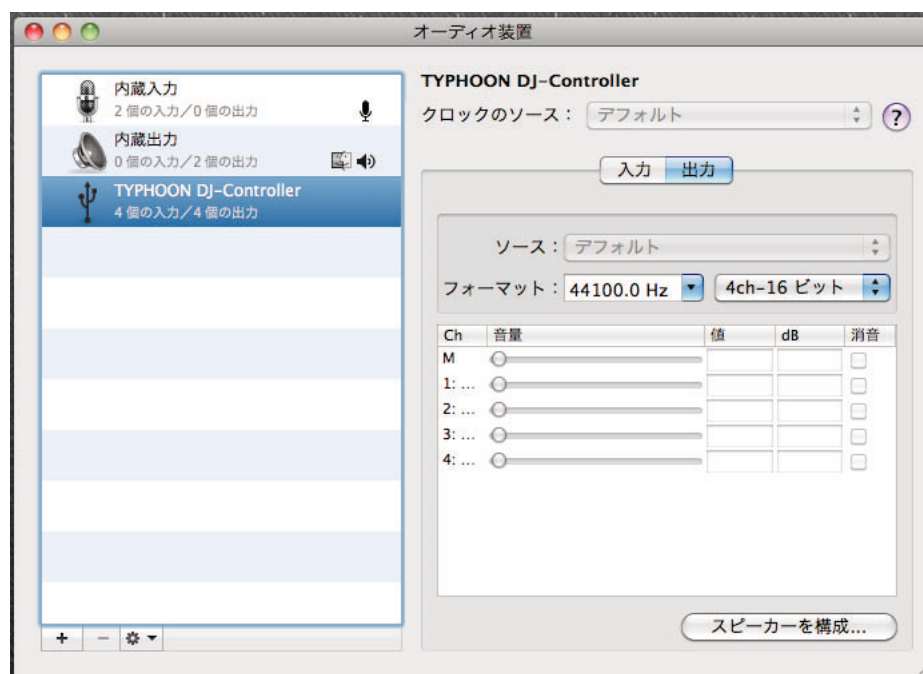
2. Typhoonの背面パネルにある、電源スイッチを"USB"に切り換えます。



これでセットアップ完了です。

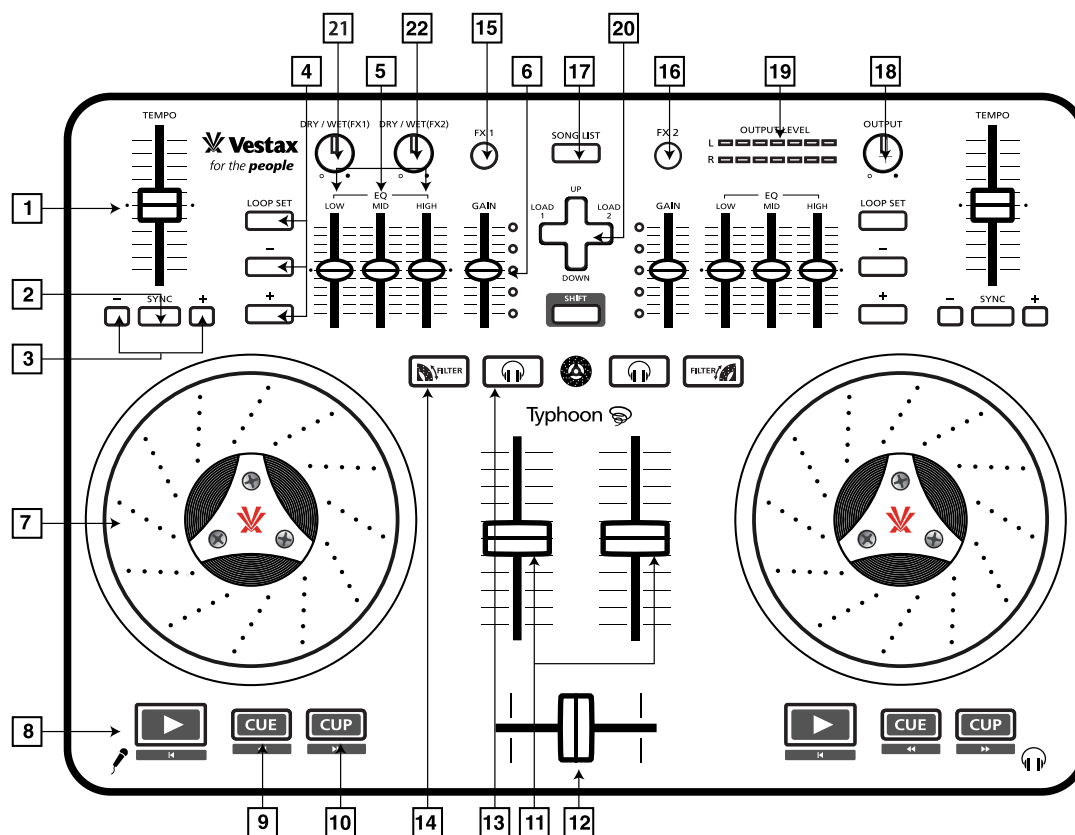
コンピュータ上でTyphoonが認識されているかを確認するには以下を確認します。

1. Macintosh HD > アプリケーション > ユーティリティ から "Audio MIDI 設定" を開きます。
2. 下図の様に左側のリストに表示されていれば、Macintosh にTyphoonが認識されています。



※アプリケーションのセットアップについては、補足マニュアルを参照してください。

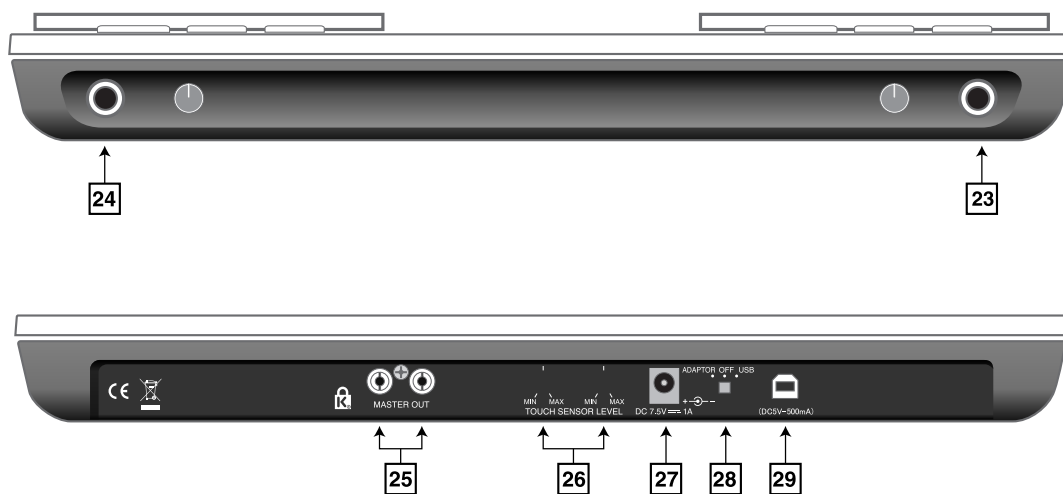
## 各部の名称と機能



## ★ DJ Control Section

| NO.   | 名称            | 機能  |
|-------|---------------|---|
| 1     | TEMPO SLIDER  | 曲の再生スピードを早くしたり、遅くしたりします。  |
| 2     | SYNC          | 既に流れている曲の BPM(TEMPO) に同期させます。   |
| 3     | PITCH BEND    | 曲の再生スピードを若干早くしたり、遅くしたりします。  |
| 4     | LOOP SECTION  | “LOOP SET”を押すとあらかじめソフトウェア上で設定した拍数(長さ)でLOOPプレイが始まります。拍数(長さ)は「+」、「-」で設定が可能です。         |
| 5     | EQ section    | 3つのつまみがそれぞれ、低音 (LOW)、中音 (MID)、高音 (HIGH) の調整を行います。                                   |
| 6     | GAIN          | デッキに読み込まれた音量の増幅を行います。   |
| 7     | JOG / PLATTER | 再生されている曲をレコードのように動作させます。縁(透明部分)だけを操作するとスピードの微調整が可能です。                               |
| 8     | Play          | 曲の再生を行います。  |
| 9     | CUE           | CUE ポイントの設定を行います。CUE ポイントとはプレイを始めたい部分のことを言います。                                      |
| 10    | CUP           | 設定したCUEポイントにカーソルを移動します。ボタンを押すと、CUEポイントからの再生になります。                                   |
| 11    | Volume Fader  | 各デッキの音声出力レベルを設定します。   |
| 12    | Cross Fader   | 左デッキと右デッキの音声バランスを調整します。   |
| 13    | Monitoring    | ボタンを押すと、ヘッドホンに音声が出力されます。この場合、Volume Fader が下がっていても、ヘッドホンには音声が出力されます。                |
| 14    | FILTER        | ボタンが点灯している時に、ジョグホイールを回すとフィルターをかけることができます。センター位置よりも左側へ回すとローパス、右側へ回すとハイパスフィルターがかかります。 |
| 15/16 | FX 1 / FX 2   | エフェクトの ON / OFF スイッチ  |
| 17    | SONG LIST     | ボタンを押している間、楽曲の一覧が表示されます。  |
| 18    | OUTPUT        | 全体の音量レベルを調整します。   |
| 19    | OUTPUT LEVEL  | 全体の音量レベルを LED メーターで表示します。   |
| 20    | CURSOR        | 音楽ファイルの選択、再生デッキへ音楽ファイルを読み込みます。上下の動作でファイルを選択し、左右の動作でそれぞれのデッキに音楽データを読み込みます。           |
| 21/22 | DRY / WET     | 各エフェクトのかかり具合を調整します。   |





## Audio I/O

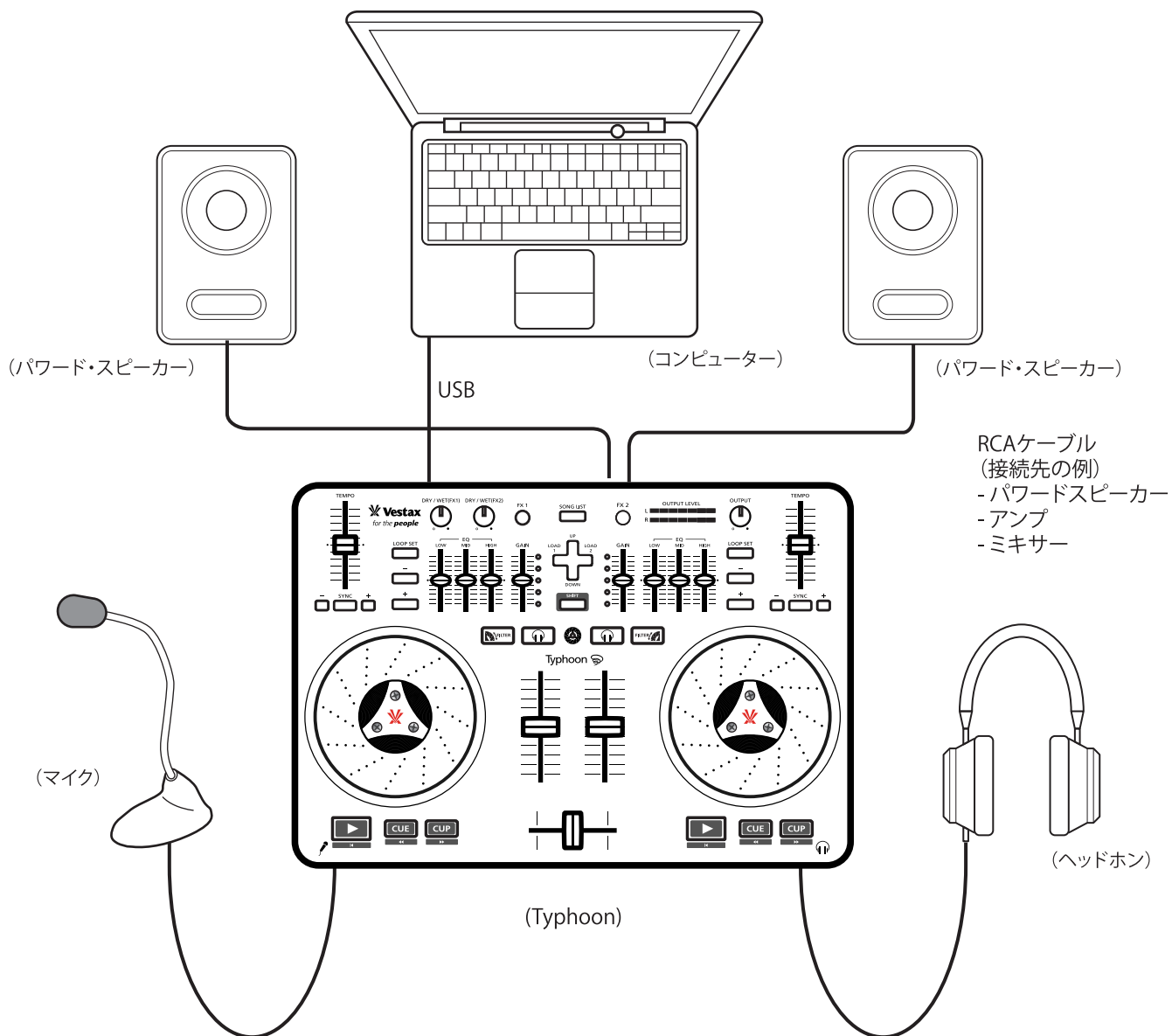
|         | 機能   |
|---------|--|
| ONE OUT | ヘッドフォンを接続し、モニターします。ジャック左側のつまみで音量を調整します。                  |
| UT      | マイクを接続します。ジャック右側のつまみで音量を調整します。<br>※Macintoshではご利用になれません。 |
| OUT     | 全体の音声出力用の端子です。パワースピーカーやアンプに接続します。                        |

|                        | 機能                                  |
|------------------------|-------------------------------------|
| TOUCH SENSOR LEVEL     | JOG の感度調整をします。                      |
| DC POWER INPUT         | 専用 DC アダプタ : DC7.5V 1A (別売) を接続します。 |
| POWER SOURCE SELECTION | 電源を DC アダプタ、USB、OFF から選択します。        |
| USB Socket             | Typhoonとコンピューターをつなげるための端子です。        |

ボタンを押しながら、特定のボタンをおすと新たな機能になります。

- SHIFT + PLAY** : トラックの頭に戻ります。
- SHIFT + CUE** : 巻き戻しになります。
- SHIFT + CUP** : 早送りになります。

## セットアップ例



※TyphoonとUSBケーブル以外は当パッケージに付属しません。

※Macintoshでは、マイク機能をご利用いただけません。

※「セットアップ」は、マニュアル5ページ参照

## サポート

### トラブル・シューティング

#### ①コンピューターがTyphoonを認識しない

- コンピューターを別のUSB端子につないでください
- USBケーブルが正しく接続されているかご確認ください
- TyphoonがUSBハブを介して接続されている場合は、ハブから外し直接コンピューターのUSB端子に接続してください

#### ②Typhoonから音が出ない

- 音声ケーブルが正しく接続されているかご確認ください
- アンプ、スピーカーなどの電源が入っているかご確認ください

### オフィシャル・サポート・チャンネル

Typhoon本体のサポートとカスタマーサービスについては

ベスタクス・サポート・サイト  
<http://www.vestax.jp/info/contact/>

## 主な仕様

寸 法 : 354mm(W) × 240mm(D) × 35mm(H) [45mm(H) 最大]

質 量 : 1.5kg

消費電力 : DC5V 500mA(USB POWER)

アダプタ : DC7.5V 1A (別売り)

## 保証とアフターサービス

### 保証書（別添付）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管して下さい。

#### 保証期間

お買い上げの日から1年です。

### 補修用性の迂愚品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

この期間は経産省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

### ご不明な点や修理に関するご相談

#### ●製品の使用の問合せ及びサポート

お問い合わせ：cs@vestax.jp  
web: <http://www.vestax.jp>

#### ●修理に関するご相談並びにご不明な点はお買い上げの販売店にお問い合わせ下さい。

### 修理を依頼されるときは

異常のあるときは使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼下さい。

（保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。）

#### 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示下さい。  
保証の規定に従って修理させていただきます。

#### 保証期間が過ぎているときは

ご相談の上修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。見積りが必要な場合はあらかじめお伝え下さい。

お買い上げの日

お買い上げ店名

電話（        ） -



# Typhoon

The word 'Typhoon' is written in a large, bold, sans-serif font. To its right is a stylized icon of a typhoon, consisting of several concentric, overlapping loops that suggest a swirling motion.

ソフトウェア簡単ガイド

P.2~

Quick Start Guide

P.15~

---

## 目次

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| 目次                            | 2  |
| コンピューターのセットアップ                | 3  |
| 「Tractor LE」のインストール・セットアップ    | 4  |
| Typhoon with Traktor LE 簡単ガイド | 8  |
| 基本的な操作                        | 8  |
| 応用編                           | 12 |

# コンピューターのセットアップ

## ■Windowsの場合

1. TyphoonとコンピューターをUSBケーブルで接続します。
  2. Typhoon背面の電源スイッチを切り換えます。専用DCアダプターを使用する場合は「ADAPTOR」へ、USBバスパワーを使用する場合は「USB POWER」へ切り替えるとTyphoonのPOWER LEDが点灯し電源がONの状態になります。
- ※ ご注意：コンピューターのUSB端子へ直接接続せずに、USBハブをご使用になる場合や、コンピューター自体の電源容量が十分ではない場合は、安定した動作を確保するためにも必ず専用DCアダプター（別売り）をご使用ください。

Windows XP上では、まず“新しいハードウェアが見つかりました。”と表示され、次に[Vestax Typhoon] [USB複合デバイス]、[USBオーディオデバイス]のドライバーが自動的にインストールされていきます。（2回目以降の接続や既にドライバーがインストールされている場合には上記メッセージが表示されない場合もあります。）

3. Windows XP上での確認方法は、「コントロールパネル」>「システム」>「ハードウェア」>「デバイスマネージャー」でUSBコントローラの項目の中に「USB複合デバイス」（プロパティで“場所 Typhoon”）が表示され、デバイスの状態が「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されれば、コンピューターとTyphoonの接続は正常に行われています。

## ■Macintoshの場合

1. TyphoonとコンピュータをUSBケーブルで接続します。
  2. Typhoon背面の電源スイッチを切り替えます。専用DCアダプターを使用する場合は「ADAPTOR」へ、USBバスパワーを使用する場合は「USB POWER」へ切替えます。TyphoonのPOWER LEDが点灯します。
- ※ ご注意：コンピューターのUSB端子へ直接接続せずに、USBハブをご使用になる場合や、コンピューター自体の電源容量が十分ではない場合は、安定した動作を確保するためにも必ず専用DCアダプター（別売り）をご使用ください。
3. Macintosh本体で認識しているか確認する場合には「アプリケーション」フォルダ内の「ユーティリティ」を開き、「Audio MIDI設定」を起動します。「MIDI装置」タブをクリックして写真のように「Typhoon」が表示されます。「Typhoon」のアイコンをクリックしてプロパティを確認しましょう。

装置名：Typhoon  
製造元：Vestax  
機種：Typhoon  
と表示されていればOKです。

# 「Traktor LE」のインストール・セットアップ

付属のソフトウェア「Traktor LE」をインストールします。

## ■Windowsの場合

1-1 付属のCD-ROMをドライブに挿入して下さい。

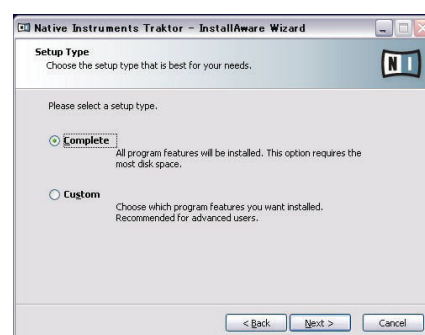
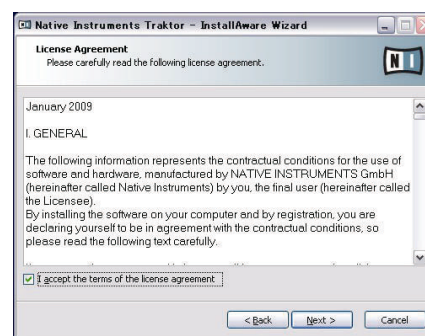
2-1 「Traktor Setup」をクリックしてインストーラーを立ち上げます。

2-2 解凍が終わり、インストーラーが立ち上がったら、「Next」をクリックします。

3-1 使用許諾についての案内が出るので左下のチェックボックスにチェックを入れ、「Next」をクリックします。

4-1 インストールの方法を選択する画面が現れるので、「Complete」を選択して「Next」をクリックします。その後、Native Instruments社製インターフェースのドライバーをインストールする選択画面が現れます。必要であれば、チェックを入れて「Next」をクリックして下さい。

5-1 これまで入力したインフォメーションを確認する画面が現れるので、確認してOKであれば「Next」をクリックして下さい。





6-1 インストールが始まるので終了までお待ちください。

7-1 インストールが終了するとこのような画面が現れます。「Welcome.pdf」を読みたい場合やすぐに「Traktor」を起動させたい場合は、必要なチェックボックスにチェックを入れて「Finish」をクリックしてインストーラーを終了して下さい。

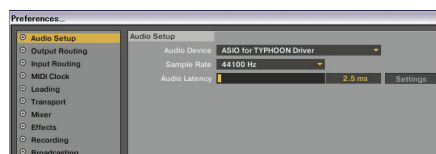


8-1 「Traktor」を起動すると初回はこのような画面が現れます。目的に応じて選択をしてください。Typhoonを使用する際は Please choose your setupの欄でVestaxを、Please choose your deviceの欄でTyphoonを選択してください。

「Demo」・・・デモ版で使用する場合  
 「Buy」・・・オンラインにて「Traktor」を購入する場合  
 「Activate」・・・アクティベートを行う場合



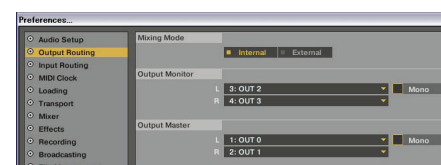
9-1 初回起動時には「Preference」画面が起動し、様々な設定を行います。  
 ・「Audio Setup」・・・オーディオ・インターフェースの選択、サンプリングレートの設定等  
 ・「Output Routing」・・・出力先の設定



9-2 「Output Routing」を開き、プルダウン・メニューから出力先の設定を行います。  
 「Output Monitor」・・・モニター・ソースの出力先として  
     L 3: OUT 2  
     R 4: OUT 3

「Output Master」・・・メイン・ソースの出力先として  
     L 1: OUT 0  
     R 2: OUT 1

と選択します。



これでTyphoonを使用してTraktor LEをコントロールする準備が整いました。

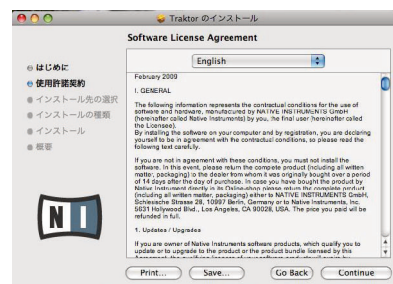
## ■Macintoshの場合

1-1 付属のCD-ROMをドライブに挿入してください。  
「Traktor Installer」をクリックしてインストーラーを立ち上げます。

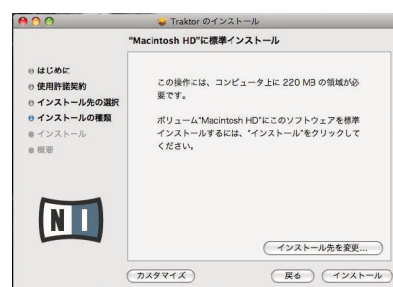
2-1 インストーラーが立ち上がるので、「続ける」をクリックします。



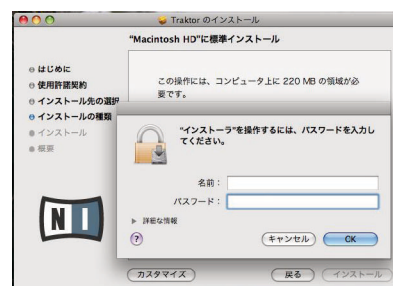
2-2 ライセンス使用許諾画面が現れます。特に問題が無ければ「Continue」をクリックしてインストールを進めます。使用許諾に関して同意を求める画面が現れます。同意してインストールを進めるには「Agree」をクリックします。



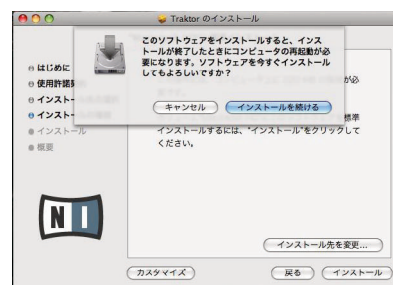
3-1 インストール先の確認をする画面が現れます。通常は「アプリケーション」フォルダを選択しています。複数のハードディスクドライブを接続していたり、違うフォルダにインストールする場合には、右下の「インストール先を変更...」をクリックしてインストール先を選択します。



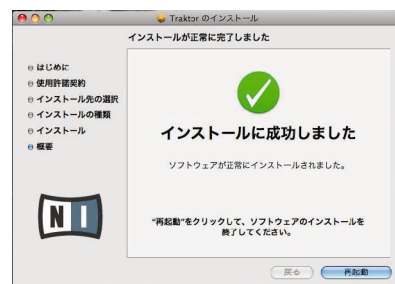
4-1 インストールを始める際にお使いのMacintoshセットアップ時に設定したパスワードを入力します。



5-1 インストールの最終確認があります。「インストールを続ける」をクリックしてインストールを始めます。



5-2 インストールの終了を知らせる画面が現れたら「再起動」をクリックしてインストールを終了し、再起動を行ってください。



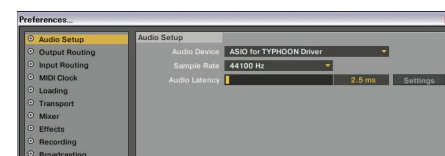
6-1 「Traktor」を起動すると初回はこのような画面が現れます。目的に応じて選択をしてください。Typhoonを使用する際はPlease choose your setupの欄でVestaxを、Please choose your deviceの欄でTyphoonを選択してください。

- 「Demo」・・・デモ版で使用する場合
- 「Buy」・・・オンラインにて「Traktor」を購入する場合
- 「Activate」・・・アクティベートを行う場合



7-1 初回起動時には「Preference」画面が起動し、様々な設定を行います。

- ・「Audio Setup」・・・オーディオ・インターフェースの選択、サンプリングレートの設定等
- ・「Output Routing」・・・出力先の設定



8-1 「Output Routing」を開き、プルダウン・メニューから出力先の設定を行います。

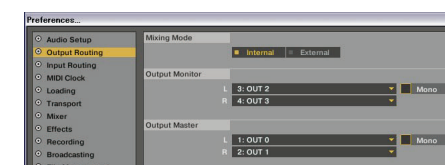
「Output Monitor」・・・モニター・ソースの出力先として

- L 3: OUT 2
- R 4: OUT 3

「Output Master」・・・メイン・ソースの出力先として

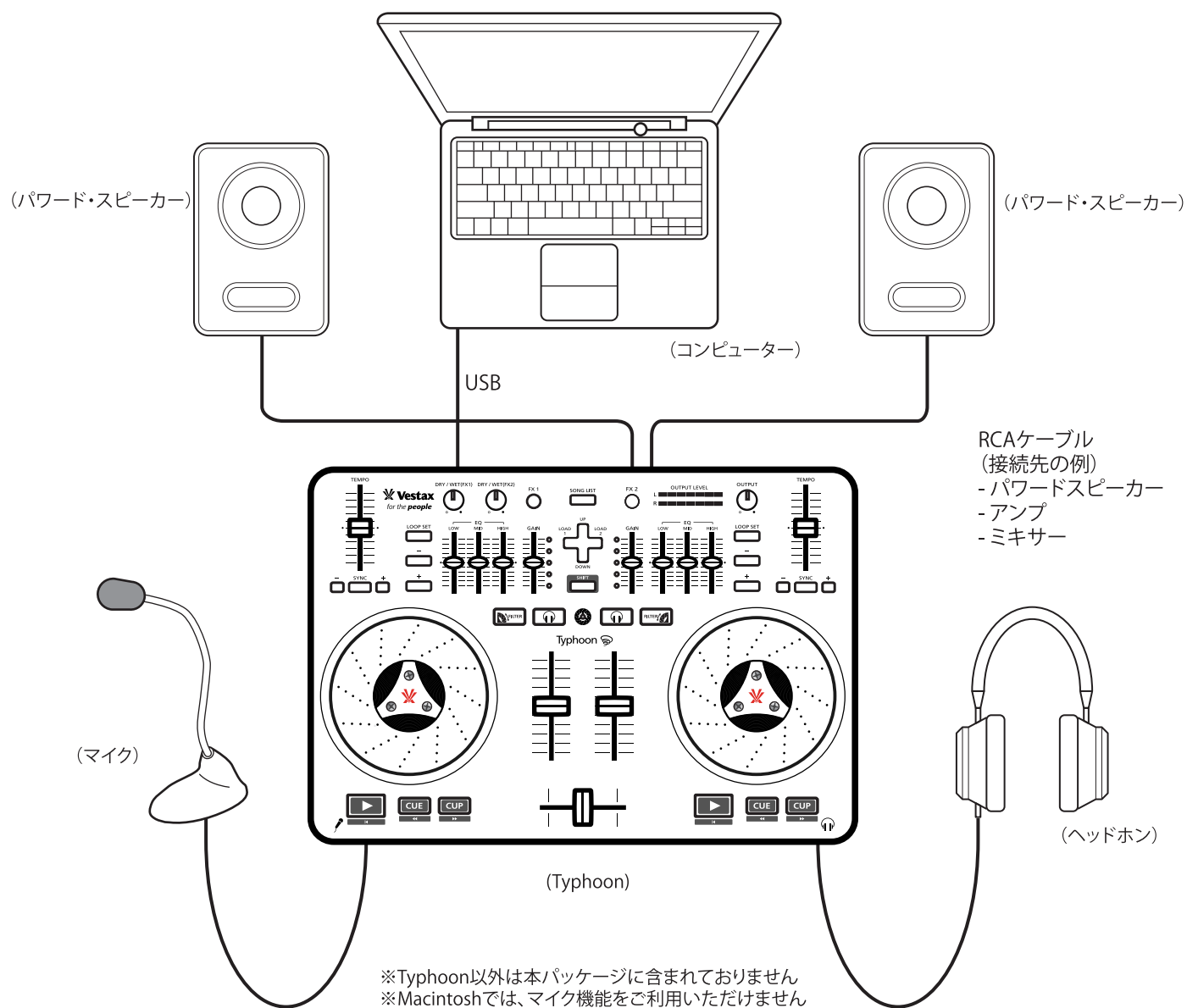
- L 1: OUT 0
- R 2: OUT 1

と選択します。



これでTyphoonを使用してTraktor LEをコントロールする準備が整いました。

# Typhoon with Traktor LE 簡単ガイド



※セットアップは、「取扱説明書」5ページを参照

## 基本的な操作

すべてのセットアップが終わったら、早速音を出してみましょう。

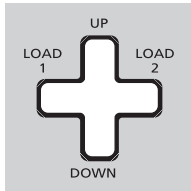
Traktor 起動時に、ソフトウェア画面の Master と Monitor のツマミをダブルクリックしてください。  
Mix のツマミを左に絞ってください。

まず、デッキ1 (左側) に曲を読み込みます。

(注) Typhoon の左右のフェーダー (11番) が下がっていることを確認します。

※ Traktor 上の MIX ノブ、Master ノブ、Monitor ノブは Typhoon 上ではアサインされていません。

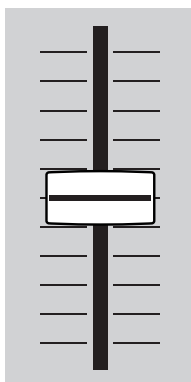
画面上のExplorerを開き、楽曲のデータを保存している場所(フォルダ)を指定します。  
Explorer右側の曲目リストに楽曲が表示されたら十字キー(20番)の上と下を押しながらプレイしたい曲を選びます。  
選択後、十字キーの左側(LOAD1)を押すことで、デッキAに曲が読み込まれます。



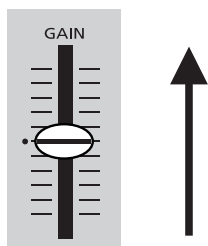
デッキAの“PLAY”を押すと、デッキが再生されます。



クロスフェーダー(12番)が左一杯にあることを確認し少しずつ左側の縦フェーダー(11番)を上げてみます。  
曲を読み込んだ状態で曲は既にプレイされていますので、フェーダーを上げると音が出ます。

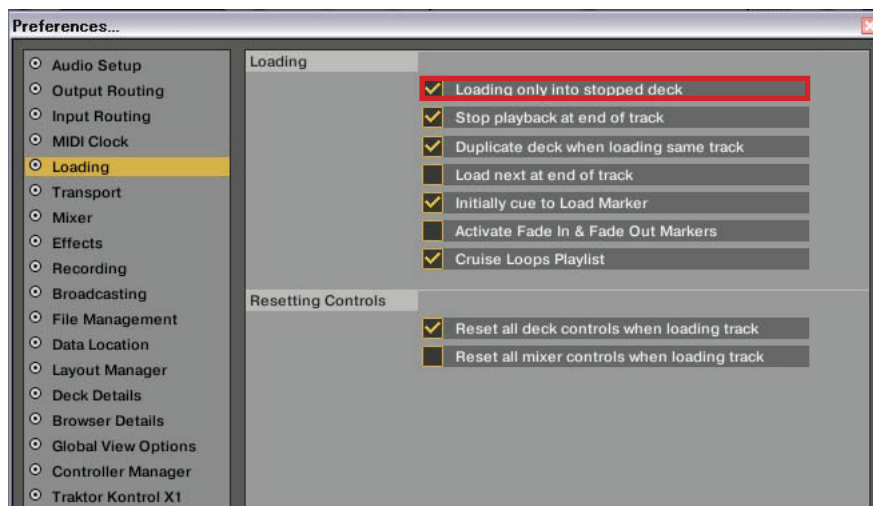


音量が極端に小さい場合はGAIN フェーダー (6番) を調整し横にある LEDメーター中のオレンジ色が点くあたりまで GAIN フェーダーを上下させます。

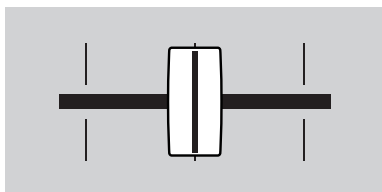


#### ★ワンポイント

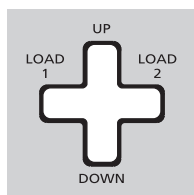
Preferences -> Loading の Loading only into stopped deck のチェックを入れると、再生しているデッキに曲をロードできなくなるので、誤って曲を止めることはありません。



クロスフェーダー (12番) にはデッキ1と2を文字通りクロスさせる機能があります。左一杯にしておけばデッキ1のみの音、右一杯にするとデッキ2の音だけが出ます。クロスフェーダーを真ん中にしておくと、縦フェーダー (11番) のバランスをとることでミックスも可能です。

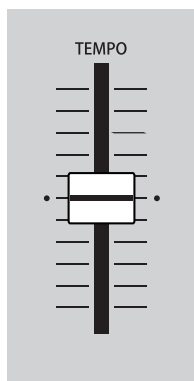


次に、先ほどと同じように十字キー（20番）でデッキB（右側）に好みの曲を入れます。  
今度は曲を選択後、十字キーの右側(Load2)を押します。

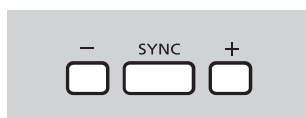


これで左右 (A,B) のデッキから音楽が流れている状態です。クロスフェーダー、縦フェーダーを上げれば左右の曲が混ざりますが左右のテンポはバラバラの音になっているはずですが。

TEMPOスライダーを上下することで、テンポを調整することもできます。  
TEMPOスライダーでテンポを合わせるのが難しい場合は、右側（または左側）のスライダーの下にあるSYNCボタンを押してください。  
SYNCボタンを押すことで自動的に左右のテンポを合わせることが可能です。



右側（または左側）TEMPOスライダー（1番）の下にあるSYNCボタンを一回押します。



デッキ1と2のテンポがそろいます。  
これで、容易にミックスをすることが可能になりました。

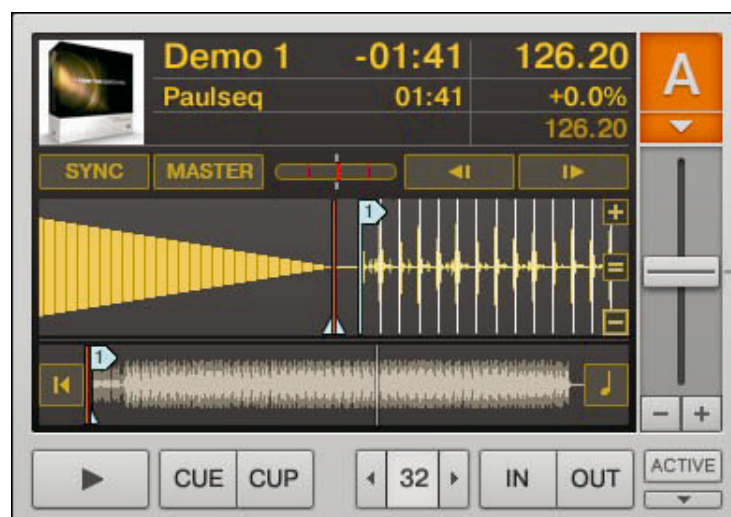
#### ★ワンポイント

"Monitoring" ボタン（13番）を押すと、縦フェーダー（11番）が下がっている状態でも、ヘッドホンに音が流れるので、曲を予め聴いて確認したい場合に便利です。

## 応用編

### 1. CUE POINT

CUEポイントを設定しておくことで、曲の好きな場所からプレイをスタートしたり、ミックスができます。曲のスタートポイントにしたい場所をジョグで探して、「CUE」ボタンを押すと、CUE POINTが設定されます。曲を再生した状態で「CUE」を押すと、CUEポイントを設定した位置に戻ります。曲を再生した状態で「CUP」を押すと、CUEポイントから再生を始めます。





## 2.LOOP



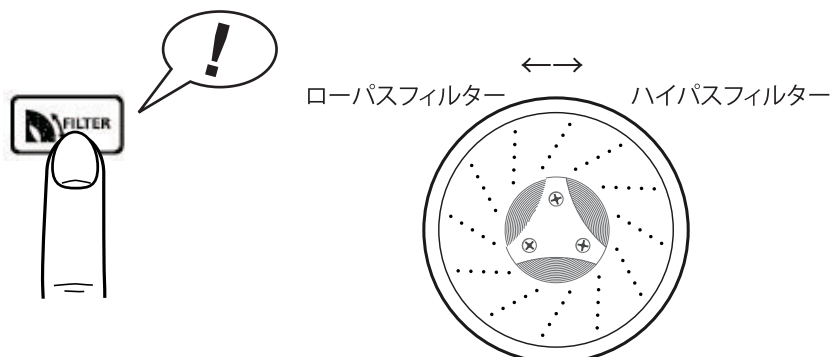
Typhoonの「+」または「-」を押して、LOOPする長さを設定します。

プレイ中にここでループしたいという部分でLOOP SETボタン(4番)を押します。(赤色に点灯します。) 押した瞬間から自分の設定した長さでLOOPが始まります。 LOOPを終えて曲に戻りたい時には再度LOOPボタンを押します。

またLOOP中にその下の「-」ボタンを押すと音符(LOOPの長さ)が半分ずつになります。 これによってドラムROLLのような効果を演出することができます。

### 3. FILTER

FILTERボタンを押すと曲にフィルターをかけることができます。  
フィルターのコントロールはジョグホイールを回すことによってコントロール可能です。  
センター位置よりも左側へ回すとローパスフィルターがかかり、右側へまわすとハイパスフィルターがかかります。



### 4. エフェクト

FXボタンを押すと曲にエフェクトをかけることができます。  
FX1はデッキ1、FX2はデッキ2にかかるとなっています。  
原音とエフェクト音のバランスは、それぞれのチャンネルのDRY/WETツマミで調整可能です。

